

設計調書 : 仮設構造物詳細設計

業務番号: _____

業務名: _____

委託者: _____

受託者: _____

作成日: 令和 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受託者印		

仮設構造物詳細設計調書 (土留工・支保工) (1 / 6)

業務名			
構造物名		受注者名	
所在地		照査技術者	
施工箇所		管理技術者	
事務所名		作成年月日	

[設計調書は、類似構造物 (同条件、同タイプ) のうち代表的なものについて記入する。]

構造物名	代表名	類似構造物																																																								
(断面図)	(ボーリング図)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>層厚</th> <th>N</th> <th>r</th> <th>c</th> <th>φ</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>I</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>II</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>III</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>IV</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>V</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>VI</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>VII</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 土の種類は次のとおり。 ①砂質土 ②粘性土 N>5 ③粘正土 N≤5 2. ボーリング図の出典を記入すること。 3. 水位を明示すること。 4. 設計地盤面を明示すること。 5. 土留杭の施工方法を明示する。 6. 近接する地中、地上支障物件を明示する。 7. 切梁設置時の予堀深さを明示する。</p>	区分	層厚	N	r	c	φ	種類	I							II							III							IV							V							VI							VII						
区分	層厚	N	r	c	φ	種類																																																				
I																																																										
II																																																										
III																																																										
IV																																																										
V																																																										
VI																																																										
VII																																																										
	(平面図)																																																									

仮設構造物詳細設計調書 (土留工・支保工) (2 / 6)

項 目		設 計 結 果		備 考	
		計 算 値	使 用 値		
土留工(自立式・支保工式)	親杭	土留	根入長 ^{※1}		^{※1} 1.5m以上(岩盤の場合別途) ^{※2} H-300以上 ^{※3} 3.0cm以上
			断面寸法 ^{※2}		
			応力度		
		杭	支持力		
			最大変位		
			土留板	断面寸法 ^{※3}	
	応力度				
	鋼矢板方式等 (柱列式土留含む)	根入長		^{※4} III型以上(鋼矢板の場合かつ市街地の場合) ^{※5} 30cm以内(鋼矢板の場合)	
		断面寸法 ^{※4}			
		応力度			
		最大変位 ^{※5}			
	支保工	腹起し 段目	間隔 ^{※6}		^{※6} 垂直3.0m程度以下、頂部より1m程度以内(無覆工の場合を除く) ^{※7} H-300以上
断面寸法 ^{※7}					
応力度及び安全度					
切はり 段目		間隔 ^{※8}		^{※8} 水平5.0m以下、垂直3.0m程度以下 ^{※9} H-300以上	
		断面寸法 ^{※9}			
		応力度及び安全度			
火打ち		断面寸法		(注 ¹): 次の計算ケースより決定されたものを選ぶ。 (a) 掘削完了時 (b) 最下段切はり設置直前 (c) 撤去時 (d) 盛替時	
		応力度			
中間杭		間隔		(注 ²): 次の計算ケースより決定されたものを選ぶ。 (a) (つりあい深さ) × 1.2以上 (b) ボイリングに対する必要長 (c) ヒーピングに対する必要長 (d) 3.0m以上	
		断面寸法			
		支持力			
特記事項				(注 ³): 「建設工事公衆災害防止対策要綱」による。	

仮設構造物詳細設計調書 (締切工) (3 / 6)

業務名			
構造物名		受注者名	
所在地		照査技術者	
施工箇所		管理技術者	
事務所名		作成年月日	

[設計調書は、類似構造物 (同条件、同タイプ) のうち代表的なものについて記入する。]

構造物名	代表名	類似構造物																																																								
(断面図)	(ボーリング図)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>層厚</th> <th>N</th> <th>r</th> <th>c</th> <th>φ</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>I</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>II</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>III</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>IV</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>V</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>VI</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>VII</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 土の種類は次のとおり。 ①砂質土 ②粘性土 N>5 ③粘正土 N≤5 2. ボーリング図の出典を記入すること。 3. 水位を明示すること。 4. 設計地盤面を明示すること。</p>	区分	層厚	N	r	c	φ	種類	I							II							III							IV							V							VI							VII						
区分	層厚	N	r	c	φ	種類																																																				
I																																																										
II																																																										
III																																																										
IV																																																										
V																																																										
VI																																																										
VII																																																										
	(平面図)																																																									

仮設構造物詳細設計調書 (締切工) (4 / 6)

項 目		設 計 結 果		備 考		
		計 算 値	使 用 値			
締 切 工	自 立 式	チ ヤ ン の 式	根 入 長 ^{※1}		※1 仮想地盤面 + π / β 又は $2.5 / \beta$	
			断 面 寸 法 ^{※2}		※2 II型以上 (公衆に係わる区域においてはIII型以上)	
			応 力 度			
			最 大 変 位 ^{※3}		※3 自立高の3%以内	
	方 式	モ ー メ ン ト 釣 合 法		根 入 長 ^{※4}		※4 (つりあい深さ) × 1.2以上
				断 面 寸 法 ^{※5}		※5 II型以上
				応 力 度		
				最 大 変 位 ^{※6}		※6 自立高の3%以内
	重 幅 縮 切 方 式	二 切 重 幅	設 計 対 象 水 位	仮締切天端高		
			締	セン断変形破壊		
				滑 動		
				基礎地盤の支持		
縮 切 方 式		鋼 矢 板		根 入 長 ^{※7}		※7 受動モーメント = 安全率 × 主働モーメント 又は, 3.0m以上で, どちらか大きい方
				断 面 寸 法 ^{※8}		※8 III型以上
				応 力 度		
				問 隔		
方 式		引 張 材		材 質		
				断 面 寸 法 ^{※9}		※9 最小28mm
				応 力 度		
				断 面 寸 法		
式	腹 起 材		応 力 度			
		遮水 効果	浸 透 路 長			
特記事項						

仮設構造物詳細設計調書 (路面覆工・仮橋工) (5 / 6)

業務名			
構造物名		受注者名	
所在地		照査技術者	
施工箇所		管理技術者	
事務所名		作成年月日	

[設計調書は、類似構造物 (同条件、同タイプ) のうち代表的なものについて記入する。]

構造物名	代表名	類似構造物																																																								
(断面図)	(ボーリング図)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>層厚</th> <th>N</th> <th>r</th> <th>c</th> <th>φ</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>I</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>II</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>III</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>IV</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>V</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>VI</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>VII</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 土の種類は次のとおり。 ①砂質土 ②粘性土 N>5 ③粘正土 N≤5 2. ボーリング図の出典を記入すること。 3. 水位を明示すること。 4. 設計地盤面を明示すること。 5. 土留杭の施工方法を明示する。 6. 近接する地中、地上支障物件を明示する。 7. 切梁設置時の予堀深さを明示する。</p>	区分	層厚	N	r	c	φ	種類	I							II							III							IV							V							VI							VII						
区分	層厚	N	r	c	φ	種類																																																				
I																																																										
II																																																										
III																																																										
IV																																																										
V																																																										
VI																																																										
VII																																																										
	(平面図)																																																									

仮設構造物詳細設計調書 (路面覆工・仮橋工) (6 / 6)

項 目		設 計 結 果		備 考	
		計 算 値	使 用 値		
路 面 覆 工	設計荷重 (対象車輛)				*1 L/400 (Lは支間) 以下, 2.5cm以下
	覆 工 板 寸 法				
	受 桁	断 面 寸 法			
		応 力 度			
		た わ み * 1			
	桁 受 け	断 面 寸 法			
		応 力 度			
	支 持 杭	断 面 寸 法			
		応 力 度			
		支 持 力			
仮 橋 工	設計荷重 (対象車輛)				*2 L/400 (Lは支間) 以下, 2.5cm以下
	幅 員				
	支 間				
	覆 工 板 寸 法				
	主 桁	断 面 寸 法			
		応 力 度			
		た わ み * 2			
	横 桁	断 面 寸 法			
		応 力 度			
	橋 脚	断 面 寸 法			
応 力 度					
支 持 力					
特記事項					